

# 君は名探偵！

## ～子どもとともに戦略を練る～

木原 実

対 象：小学生（高学年）・中学生  
活用場面：個別面談

### このワークシートのねらいは…

「問題」を「本人」から切り離すこと（問題の外在化）を意識して実施します。その際、何といても「楽しい時間をともに過ごす」ことがポイントです。このワークシートを前にして、子どもたちと「ともに戦略を練る仲間」になりましょう。

### こんなふうに使います！

- ①子どもと横並びになり、2人でワークシートを見ながら、上から順番に聞き、記入させていきます。
- ②絵はニックネームをつけたあとに描いてもらいましょう。色・におい・触った感じなども聞くと、楽しさが倍増します。できるだけユーモアを駆使して盛り上げます。
- ③下部の2つの欄は、「例外探し」と「未来像・解決像の構築」をするゴールセッティングです。2人で力を合わせてゴールに向かう計画を立てましょう。ゴールへたどりつくのは子どもです。答えを急ぎすぎて、教師の思いどおりに進めては逆効果。まずはしっかり耳を傾けます。子どもこそが解決の力をもっているのです。

### 実践エピソード

特に自己肯定感がダウンしている子に効果的でした。特別支援学級の子どもたちは、このワークシートを使うとたくさん話をしてくれます。言語に課題のある生徒には、こちらからいくつかの（最小限の）選択肢を出して補ってあげました。

外在化の技法を使うと、子どもたちは最初「えっ？」という表情になります。この表情はとても魅力的です。問題を内在化して日々悩み苦しんでいる子どもにとって、問題の外在化は、一筋の光明が見える——そんな気分になるようです。

ワークシート実施後、「今日はペラペラ虫にやられてないね」「さっきペラペラ虫がいたみたいだけど、どんなふうにかわしたの？」などの会話で盛り上がります。

### アレンジのポイント

このワークシートでは「探偵がなぞを解き明かす」という設定になっていますが、この設定にこだわる必要はなく、子どものリソースに合わせる事が大切です。例えば、少女マンガの主人公でも、ヒーロー戦隊ものやアニメの主人公でもOKです。

# 君は名探偵！～なぞの正体を解き明かそう！～



君を名探偵と見こんでの依頼です。君は、君を困らせているヤツにどんなふう  
に困らされているのかな？

ニックネームをつけて  
ください

〔 〕の好き  
なものは？

そいつの絵を描いてね

〔 〕の得意  
技は？

〔 〕の嫌いな  
ものは？

〔 〕が来ても大丈夫だったり、まあまあマシだったときは、どんなとき？

〔 〕をコントロールできるようになった君には、どんなステキな未来が  
あるのかな？